



三重リレーマラソン

挑む心が 道拓く

第2回三重リレーマラソンが、2023年11月5日、四日市市中央緑地の周回コース（一周2.2km）を使って実施されました。参加は、30チーム227名、スタッフ24名。好天に恵まれ、全チームが制限時間内に完走できました。会長の相馬常吉さんは、「本日参加された皆さんが、今大会を契機に、新日本スポーツ連盟の活動に参加していただけてますようお願いいたします」と述べていました。

開会式では、来賓として山本りかさん（三重県議会議員）が「新日本スポーツ連盟は、意識を持ってスポーツを楽しむ組織。記録だけでなく、ふれあい、繋がるのが大切。生きる上でスポーツは大事。30歳代になる娘も、小さい頃から私と一緒に走っていました。今、娘は色々な種目に挑戦しています」と挨拶されました。

男性の部1位は、石薬師RC走楽、2時間21分47秒の素晴らしい記録でした。このクラブは他にも男女混合の部とファミリーの部にも参加。子どもたちは大人の走りを見て「自分も」の思いを繋いでいくことでしょう。

昨年は1頭だった恐竜は、今年は3頭に。みんなを励ます輪が広がっています。また、小・中・高と若いランナーが活躍。練習の成果を発揮、家族の支え、スポーツの魅力を発信してくれました。

今年もネットを見ての参加が目立ちましたが、宣伝で、広くチラシを届けた努力も見逃せません。対応してくれた皆さんから元気をもらいました。来年もまた会いましょう。再会（ツアイチェン）！

（「ひろば」編集委員・岡本清）



スタート！



気持ちを繋ぐタスキ



男女混合優勝



家族の声援が力に



もうひと踏ん張り！



練習の成果を発揮

ヨネリン

米鈴 (男女混合)

米鈴とは、陸上部時代にいた後輩のあだ名を採用。表題の言葉が横断幕として掲げられ、仲間を励ましています。子どもたちからは「めっちゃつかれた」の声が届き、満足の笑顔が素敵でした。

中学時代の仲間が、今も繋がる



反核平和マラソンチーム (ファミリーの部、ハーフの距離)

監督の荒木さんは、今大会の実行委員長。「昨年はメンバー不足でしたが、今年は集まって良かった」と。チーム名と共に「スポーツは平和でなければ…」の思いを広げて行って欲しいです。

次に繋がる家族の応援が支えに



鈴鹿ランニングクラブ (男女混合)

長い期間続いている秘訣は「すぐく自由な雰囲気」で、週1回集まって練習。それ以外に何の決まりもない。「自由」の意味の重さと繋がり深さを感じました。

45周年を記念したお揃いのユニフォーム



3頭の1頭から
昨年
に
増
え
ま
し
た
!

昔はお嬢さん (女性の部) ジジイオールスターズ (熟年の部)

昔はお嬢さん：何と昨年の「ウイニングラン」のメンバー。今年はチーム名を変えて参加。30歳～50歳代の元気なメンバー。「練習は、ほぼ毎日。各地で各自のメニュー」アスリートの姿がまぶしかったです。

ジジイオールスターズ：60歳～69歳の4名で完走。1週間前に、フルマラソン3名、ハーフ1名が完走しているメンバー。日頃からの練習と健康管理は、若い人の励みになると感じました。

日々の練習が活かされる

